II. 看護職員の負担の軽減及び処遇改善の取り組みについて

令和7年4月1日
ときわ会 磐城中央病院

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する体制

- (1) 看護職委員の負担軽減及び処遇の改善に関する責任者
医師：長島 淳 看護部長：木村千春
- (2) 看護職員の勤務状況の管理
勤務時間 ①40時間/週以内
 ②連続勤務5日以内
 ③勤務状況の把握：有給取得率 時間外業務の把握
夜勤勤務 ①夜勤明けの翌日は原則休み
- (3) 多職種からなる役割分担推進のための委員会及び会議
安全衛生委員会 1回/月
- (4) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画
計画の策定、年に1回の見直しと職員への周知（院内掲示）
- (5) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取り組み公開
院内掲示 ホームページ上公開

2. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善のための取り組み計画

(1) 勤務環境・処遇の改善

項目	取り組み
子育て中の職員への配慮	・時短勤務、育児休業延長ほか、勤務形態について個別相談、対応 ・子の介護休暇
配慮した勤務表作成	・夜勤明けの翌日は原則休み ・連続勤務5日までとする（40時間/週） ・夜勤、早番、遅番等繁忙時間帯の業務分担配慮 ・業務に必要な研修は勤務扱い

多様な勤務形態採用	・時短勤務、夜勤免除、指定休みなどへの対応
看護職員の適正配置	・看護職員の積極的な募集活動 採用活動 ・様式9による人員配置基準より余剰をもっても配置数とする ・欠員がある時には、他部署からの支援を要請し援助
メンタルサポート	・1回/年 ストレスチェック（必要時、産業医面談） ・ハラスメント対策 院内研修実施（ナーシングサポート）
看護補助者活躍推進への取り組み	・「看護補助者活用のための看護管理者研修」に看護師長が参加する（2人）

(2) 看護職員と他職種との業務分担

項目	取り組み
病棟内環境整備	・病棟内清掃業務を一部業者委託し業務軽減
洗濯物取り扱い	・患者の社会背景に応じて業者委託し業務軽減
患者の移送、移動	・担当看護師の指示のもと状態が安定している軽介助での移動が可能な患者の移動、移送については看護補助者が行う
身体の清潔ケア	・看護師が主として実施 ・看護補助者は看護師の指示のもとで実施

(3) 看護職員と他職種との業務分担

項目	取り組み
安全衛生委員会 1回/月	・衛生委員にて「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア」に関するガイドライン及び活用ガイドを基に業務分担について検討する
薬剤課	・病棟配置薬などの一部管理業務を担う ・夜間薬剤準備
リハビリテーション課	・病棟でのADL動作の指導、相談に応じる ・身体拘束を実施している患者のリハビリテーションにおいて、拘縮予防や血栓予防（血液循環）に配慮したマッサージを実施している ・言語聴覚士が病棟で摂食嚥下訓練を実施し、看護師の負担軽減を図る
臨床検査課	・当日朝の検体回収

放射線課	<ul style="list-style-type: none"> ・ CT、MRI 検査等における患者の移送を看護師と行う
医療相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転院、紹介入院調整 ・ MSW と協働での入退院支援及び業務分担
医事課	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストなどのカルテの整合性確認、管理
医材課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療材料等の管理、補充、運搬
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検査データスキャン及び配布 ・ PCR 検査機器の消耗品管理、物品管理 ・ 面会対応 ・ 家族来院時の連絡 ・ 当直表の整備
臨床工学課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液ポンプ、シリンジポンプの管理 ・ 人工呼吸器の管理・指導・教育